

## 温泉街のさらなる発展を願って 12/7

恒例の寸又峡温泉感謝祭が今年も開催されました

寸又峡温泉街イベント広場で温泉感謝祭が開催され、多くの来場者でにぎわいました。

この祭りは1957年12月7日に温泉が初めて湧き出したことを記念して毎年開催されており、会場では山の幸をふんだんに使った鍋料理が振る舞われたほか、赤石太鼓の演奏も行なわれ、訪れた浴衣姿の宿泊客らを楽しませました。

また、てんぐや山伏にふんした組合員やたいまつを持った地元住民らが温泉街を練り歩き、源泉でくんだ温泉水を振りまきながら無病息災と温泉街のさらなる発展を祈願しました。



▲和紙のあかり展表彰式



▲寸又峡温泉街を彩る花火

## 12/8 沢口山をランナーが駆け抜ける

寸又峡温泉・沢口山でトレイルラン大会が開催されました



▲沿道からの声援で盛り上がる ▲ふれあいも魅力の一つ

南アルプス前衛の山々の魅力を発信することを目的に、山道を走るトレイルラン競技「寸又峡カモシカトレイル アドベンチャーラン」が大間区の沢口山を会場に開催されました。

レースは男女別に40歳以下・41歳以上の4部門で行なわれ、寸又峡温泉街を発着点に標高1425mの沢口山山頂を巡る6kmの道のりを、県内外から参加した81人のランナーが駆け抜けました。参加者は地元住民らによる沿道からの声援を受けながら、最大標高差約900mの起伏あるコースを楽しみました。

## 「連携・尊重」でより良い解決策を 11/25

社会福祉協議会が相談援助の基本姿勢について学ぶ講座を開催

社会福祉協議会主催の相談対応基礎講座が山村開発センターで開かれ、民生・児童委員や社会福祉関係者など39人が受講しました。

講師を務めた静岡英和学院大専任講師の岡部真智子氏は「相談に乗る側は、一人で抱え込まずに連携して解決策を探って」「自分の価値観を押し付けず、相談者の意思を尊重するように」などと受講者に呼び掛けました。

講演の合間には2人組や4人組で行う実践練習も行なわれ、受講者は相談を聞く時の表情や姿勢などが相手に与える印象を学びました。



実践練習を終え、岡部氏に感想を述べる受講者

## おいしい手打ちそばに大満足 12/16

千年の学校・学生がデイサービスで大根そばを振る舞いました

千年の学校・山の暮らしクラブの学生13人が、社会福祉協議会本川根事務所にてデイサービス利用者約80人にそばを振る舞いました。

そばは千年の学生が種まきから収穫まで手掛け、その場で手打ちしたもので、施設利用者の西村よねさん(93歳=小長井)は「味付けもちょうど良く、とてもおいしくいただいた」と笑顔を見せ、同クラブリーダーの松本修さん(62歳=久保尾)も「納得できるそばを提供できた。お年寄りの喜ぶ顔を見られて良かった」と満足げに話しました。



そば作りをデイサービス利用者の前で実演しました

12/20

1/7

## 「落ちない大石」絵馬で合格祈願

受験シーズンを控えた町内3校の生徒に絵馬を贈呈



てんぐから絵馬と落ちない茶が贈られました

寸又峡美女づくりの湯観光事業協同組合のメンバーが川根高と本川根中・中川根中を訪れ、受験シーズンを控えた3年生(3校あわせて70人)に「落ちない大石絵馬」と一煎茶パック「落ちない茶」を贈呈しました。

てんぐと山伏にふんした同組合員から、外森山神社の断崖にて数百年とどまり続ける大石にちなんだ合格・安全祈願絵馬を受け取ると、川根高3年の鈴木龍弥さんは「落ちない大石にあやかり、自分も合格できるよう、さらに勉強に励みます」と決意を新たにしていました。

## 台湾のタクシーで町の魅力をPR 12/20～ 1/7

台湾で川根本町をPRするラッピングタクシーが走りました

川根本町と島田・富士・富士宮の3市1町は、日本の自治体では初の試みとして、台湾・台北市中心街で自治体名や観光資源のラッピング広告を施したタクシー219台を走らせました。

川根本町のラッピングタクシーは73台で、車体側面に夢の吊り橋や茶畑の写真を掲載し、車内前列シートの背中にもポスターやパンフレットを貼って町の魅力をPRしました。

また1月11日には、台北市内の喫茶店で富士山周辺や大井川流域の魅力を紹介するトークイベントも行なわれました。



インターネットの動画投稿サイトでも紹介されました